

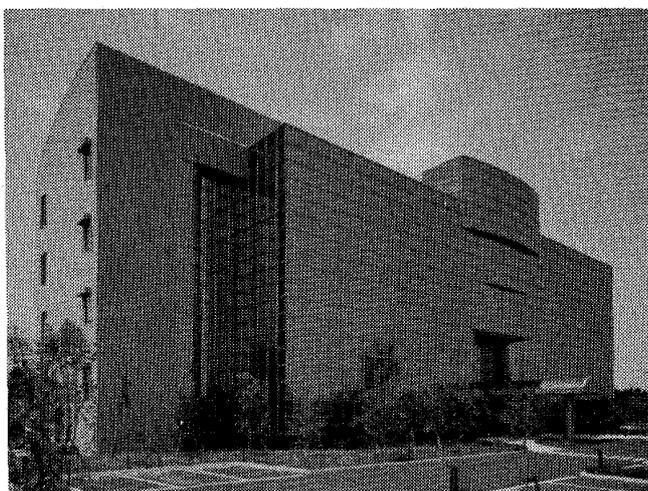
日本海事協会研究センターの紹介

弊会研究センターは平成4年2月に着工し、その後順調な工事の進捗によりここに完成をみるにいたりしました。これはひとえに関係当局、工事関係者をはじめ、多くの方々の暖かいご理解とご支援の賜物と厚く御礼申し上げます。

弊会技術研究所は、1955年に三鷹の地に設立されて以来、設立の趣旨に沿ってルールの改正、検査方法の合理化、事故原因の究明等に役立つ研究機関としてその成果をあげて参りましたが、最近の内外からの弊会に対する期待や要望は更に高まってきており、これに応えるためにその活動を拡張、前進させることを検討してまいりました。また一方、最近のコンピュータシステムの利用は、弊会の業務全般へと急速に拡がりつつあります。

このような状況に鑑み、将来の技術の進歩にも十分対応できるよう研究所の設備を拡充し、近代化を計り、また、コンピュータ業務の一元化を計って現技術研究所に代わる新しい研究センターを建設いたしました。

今後は技術研究所、コンピュータ室に加え弊会の他の技術開発部門などもここに移し、当研究センターを弊会の国際船級協会としての専門的かつ広範な技術基盤の確立、あるいは船級情報等の各種情報の管理、解析などのための技術及び研究のセンターとして充実、発展させる所存です。これらの活動を通じて一層皆様のお役に立ちたいと願っていますので、今後とも変わぬご指導及びご鞭撻を賜りますようお願いいたします。

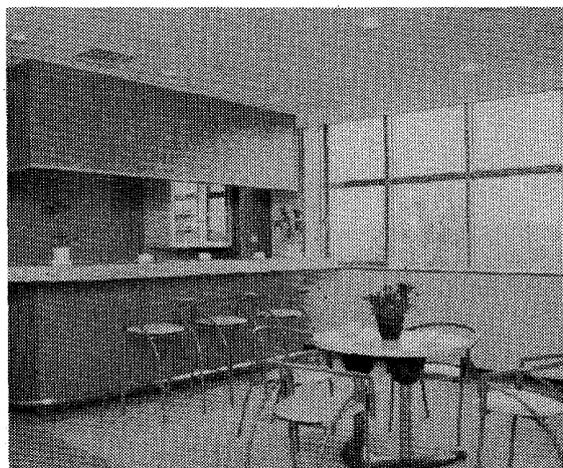


研究センターの概要

当研究センターは、研究業務、コンピュータ関連業務及びそれらの管理業務を行うため本館棟及び試験棟よりなるL字型の建屋構成としています。また、敷地内には厚生施設としてテニスコート及びグラウンドを設けています。

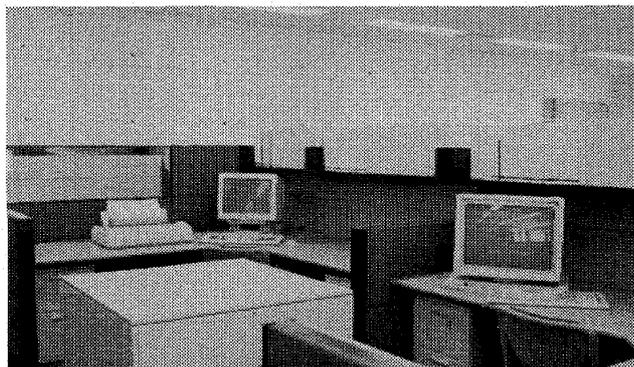
■本館棟

本館棟は、海をイメージさせるブルーのガラスカーテンウォールを道路側前面に配し、庭側などは落ち着いた色合いのタイル仕上げの外観としています。内部は将来の業務の拡大や、業務内容、組織の変化にも柔軟に対応でき、かつ効率よく業務を遂行できるようホストコンピュータを初めとしてワークステーション、パソコン等を統合した構内情報網を構築しています。執務スペースは無柱空間の居室内に快適性と効率性を兼ね備えさせるためローパーティションによる個人ブースを構成し、プライバシーとコミュニケーションの調和も図っています。また、業務に伴い生ずるテクノストレスを解放するため、窓外の緑の景観を望めるリフレッシュコーナーを設けています。



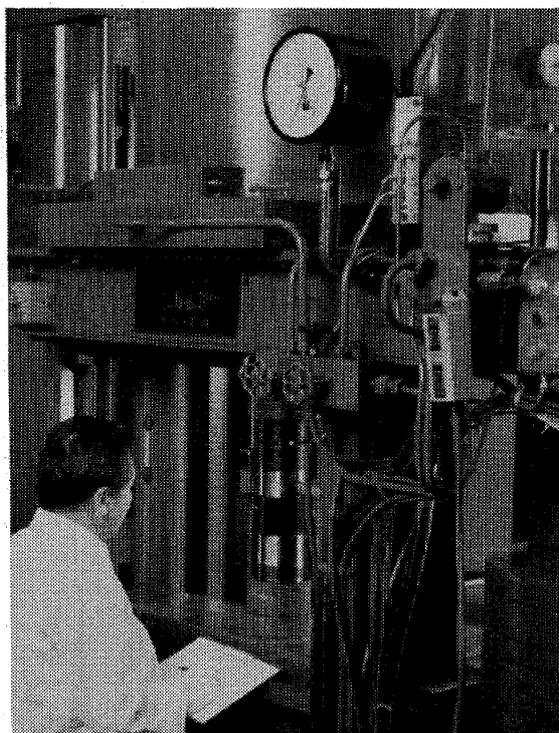
設置されている主なコンピュータ

- ・ VP-1200/10
- ・ HP9000
- ・ A-60
- ・ NEWS1720
- ・ TITAN
- ・ Macintosh700
- ・ SUNⅢ
- ・ Macintosh920
- ・ Spark Station
- ・ PC98



■試験棟

試験棟は、本館棟と一体観をもたせたタイル仕上げの2階建てとしています。建屋の両サイドには大型試験装置のための吹抜けスペースを確保し、その間の2階部分に本会の船級業務開始以降に承認された船舶の図面および研究用図書のための書庫を設けています。1階には研究業務に必要な試験機、工作機械が設置されているほか、造船、造機等関連業界で使用されている材料試験機の精度検査のための検定器を管理する標準試験機も設置されています。また、船舶の各部材に発生する応力や居室の騒音等を計測するための各種計測機器が保管されています。



設置されている主な機械装置

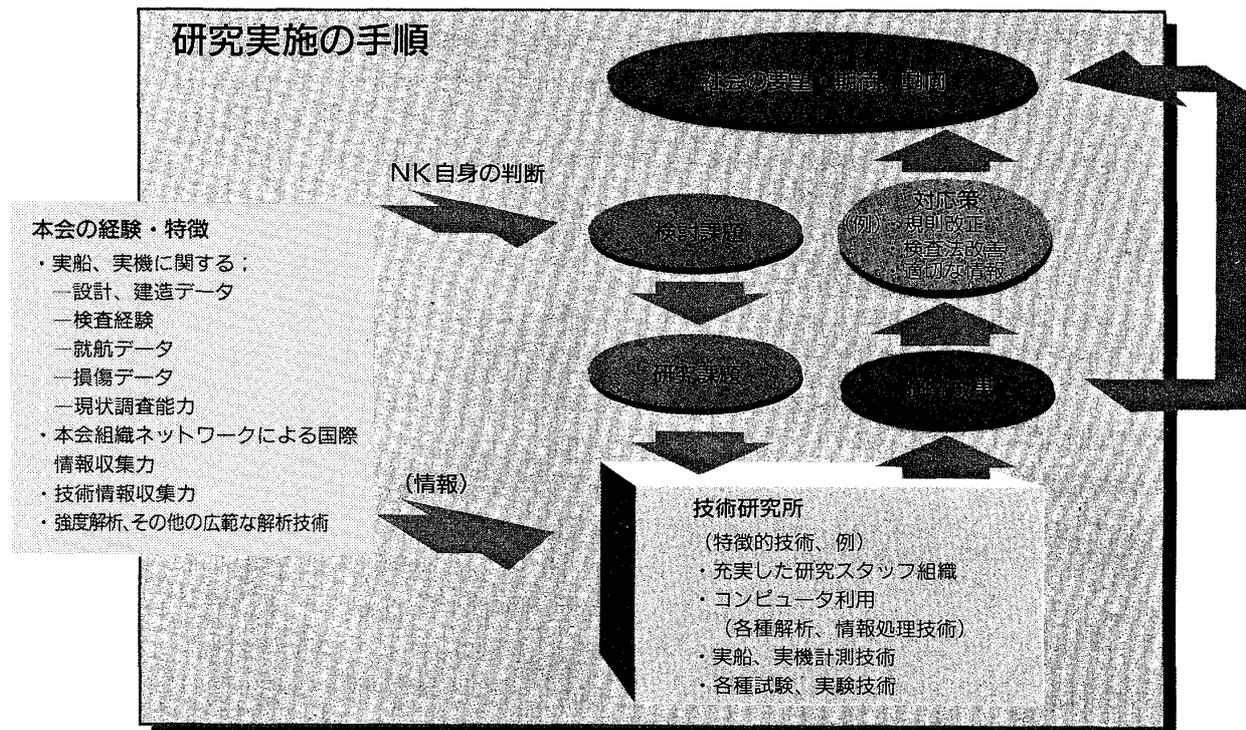
- ・ 100トン疲労試験機 (予定)
- ・ 50トン疲労試験機
- ・ 20トン疲労試験機
- ・ 10トン疲労試験機
- ・ 10トン荷重試験機
- ・ 100kg 荷重試験機
- ・ 回転曲げ疲労試験機
- ・ 走査型電子顕微鏡
- ・ 光学的顕微鏡
- ・ ビデオマイクロスコープ
- ・ 万能投影機
- ・ 摩耗試験機
- ・ フェログラフィ
- ・ オイルアナライザなど

技術研究所の紹介

『船級事業には、高度の専門的知識が要求され、また日進月歩の造船技術に対応するためルールの改正ならびに検査法の合理化、事故原因の究明が要求される。これらに役立つための研究機関として、技術研究所を設立するものである。』

これは1955年に本技術研究所設立の際述べられた当時の重光理事長の設立趣旨である。

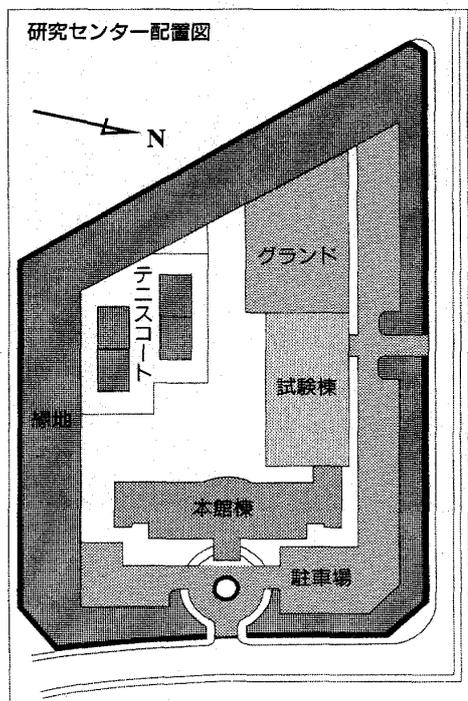
技術研究所の目的はこの趣旨につくされており今に至るまで変わっていない。しかし実際の研究の対象、内容或いは研究方法は時代の流れ、技術の進歩に対応させつつ研究が行われている。



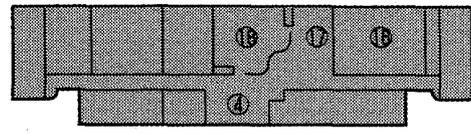
主要研究分野

- (1) 船舶の構造・強度に関する技術分野
- (2) 船舶の性能に関する技術分野
- (3) 船舶の艙装・設備に関する技術分野
- (4) 船舶の信頼性確保システムに関する技術分野
- (5) 将来型技術分野
- (6) 外部からの要請に対応する技術分野

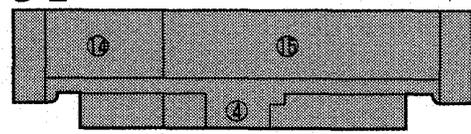
名称 研究センター
 宅地面積 11,343.80㎡
 建築面積 1,978.63㎡
 延床面積 6,138.17㎡
 主体構造 鉄筋コンクリート造
 (本館棟：地下1階、地上4階、塔屋1階)
 (試験棟：地上2階)
 (設計・監理：(株)山下設計、施工：清水建設(株))



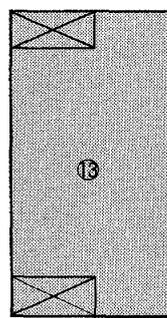
4 F



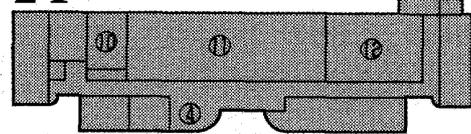
3 F



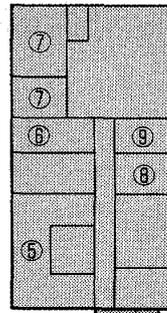
- ⑩ 所長室
- ⑪ コンピュータ室
- ⑫ CPU室
- ⑬ 書庫
- ⑭ データ処理室
- ⑮ 研究員室
- ⑯ 会議室
- ⑰ ロビー
- ⑱ 食堂



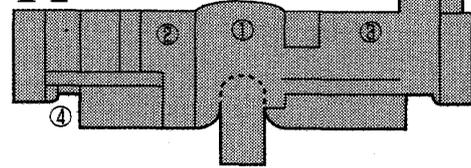
2 F



- ① エントランスホール
- ② 管理室
- ③ 展示コーナー
- ④ リフレッシュコーナー
- ⑤ 試験機室
- ⑥ 工作室
- ⑦ 標準試験機室
- ⑧ 分析室
- ⑨ 電子顕微鏡室



1 F



研究センター配置図